

Executive Cotton Update

U.S. Macroeconomic Indicators &
the Cotton Supply Chain



Cotton
Incorporated

August 2025

www.cottoninc.com

マクロ経済概観: 延期された貿易関税交渉期限は 8 月 1 日となっていた。期限前に一部の貿易相手国・地域との関税交渉合意が発表され、7 月 31 日に米政権が各国・地域に対する新たな相互関税率を公表した(各国・地域に対する相互関税率一覧が記載されている大統領令第 14257 号(改正版) [Annex はこちら](#))。7 月 31 日に公表された各国・地域に対する新たな相互関税率の平均は 20% 付近であった。これは、ここ数カ月にわたる大半の貿易相手国に対して賦課していた基本関税 10% と、中国に対して 5 月 14 日から適用されている 30% の中間水準となる。

7 月の最終週に一連のマクロ経済データが発表された。米商務省経済分析局は第 2 四半期の国内総生産(GDP)速報値を発表した。それによると 4~6 月期の米 GDP は前期比年率で 3.0% 増となった。第 1 四半期の GDP は年率 0.5% 減、2024 年通年は 2.8% 増であった。

第 2 四半期の GDP 成長の押し上げ要因となったのが輸入の減少である。GDP の計算では輸入を差し引くため、輸入の減少は GDP を押し上げる可能性がある。貿易政策の変更を背景に、輸入が大きく変動している。第 1 四半期の輸入は年率換算で 37.9% 増であった。これは、関税引き上げに備えた駆け込み輸入が要因とみられる。第 2 四半期の輸入は、関税引き上げが発動されたことから前四半期から一転し、30.3% 減少した。輸入の変動の大半はサービスではなく、関税変更の対象となっているモノであった。モノの輸入は第 1 四半期 51.6% 増、第 2 四半期 35.3% 減であった。

また、GDP の別の構成要素である個人消費も、第 1 四半期の 0.5% 増から第 2 四半期は 1.4% 増と加速している。2024 年通年では、個人消費は 2.8% 増であった。

米連邦準備制度理事会(FRB)が重視するインフレ指標は、個人消費支出(PCE)の月次推定値とともに更新される。その最新データ(6 月分)によると 6 月のインフレ率は 2.8% と 5 月とほぼ横ばい、過去 6 カ月平均、12 カ月平均とほぼ同水準となっている。この指標を基準とした FRB のインフレ目標は 2% である。7 月末に開催された連邦公開市場委員会(FOMC)会合で、FRB はインフレ懸念が拭えないことから政策金利の据え置きを決めた。会合では 2 名のメンバーが利下げ票を投じていた。FOMC の次回会合は 9 月に予定されている。労働市場の減速を受けて、利下げへの支持が広がるかもしれない。

雇用: 7 月の米国新規雇用者数は 7 万 3,000 人と予想される。過去 2 カ月分は下方修正され、5 月は 12 万 5,000 人減の 1 万 9,000 人、6 月は 13 万 3,000 人減の 1 万 4,000 人となった。これらの修正は、雇用が前回予想よりも大幅に減速していることを示唆している(過去 2 カ月分の新規雇用者数は計 25 万人以上の下方修正)。新規雇用者数の過去 12 カ月平均は 12 万 8,000 人となった。過去 6 カ月平均は 8 万 1,000 人である。失業率は前月の 4.1% から 4.2% へと僅かに上昇した。2024 年 5 月以降、4.0~4.2% の間で推移している。

7 月の時間当りの平均賃金は前年比 3.9% 増であった。2024 年 3 月以降、賃金上昇率は 3.9% から 4.2% の間で安定的に推移している。コロナ禍後の景気刺激策実施後のピーク 5.9% を付けた 2022 年 3 月以降、賃金の伸びは鈍化傾向にあるものの依然インフレ率を 1 ポイント以上上回っている。

消費者信頼感指数と消費支出: 全国産業審議会による 7 月の消費者信頼感指数は僅かに上昇した(2.0 ポイント上昇の 97.2)。4 月に大幅な低下でコロナ禍後の最低水準を記録した後、過去 3 年半の概ねのレンジ 95~115 に戻っている。

6 月の消費支出総額は前月比で横ばいとなった(0.1% 増)。前年比では 2.1% 増となった。前年比での伸びは鈍化しており、6 月の伸びは 2024 年 2 月以降で最低となった。衣料品支出は、5 月の前月比 1.1% 増の強い伸びに続き、6 月は 0.3% 増となった。前年比では 4.2% 増となった。前年比の伸びは 3 月以降、4% を上回って推移している。衣料品支出の伸びの長期平均は 2% 前後となっている。

消費者物価と輸入データ: 6 月の衣料品 CPI は、前月比で過去 2 カ月の低下(4 月 0.1% 低下、5 月 0.4% 低下)から小幅な上昇に転じた(0.4% 上昇)。前年比では 3 カ月連続の低下となった(前月比 4 月 0.5% 低下、5 月 0.7% 低下、6 月 0.4% 低下)。

4 月の関税引き上げ実施以降、衣料品輸入量の変動が激しい。全繊維製品の輸入量(重量ベース)は前年比で、4 月は 14.7% 増、5 月は 11.1% 減であった。6 月は 3.5% 増となっている。4 月前の 6 カ月間の衣料品輸入量は前年比 15.7% 増であった。

U.S. Macroeconomic & Cotton Supply Chain Charts					
Macroeconomic Indicators		Spending & Sourcing	Textiles	Currencies & Cotton	
GDP Growth	Consumer Conf.	Consumer Prices	Apparel Imports	Weighted Index	Europe
Interest Rates	Housing	Consumer Spending	U.S. Textile Production	Asia	Fiber Prices
ISM Indices	Employment	Inventory/Sales	U.S. Textile Exports	The Americas	
Leading Indicators	Income & Savings		Polyester PPI		

Executive Cotton Update

U.S. Macroeconomic Indicators & Cotton Prices
8日 2025



'マクロ経済データ 四半期統計

	近年平均				直近四半期			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	Q4 : 2024	Q1 : 2025	Q2 : 2025		
実質国内総生産（GDP）成長	3.1%	2.4%	1.0%	-0.5%	2.4%	-0.5%	3.0%	四半期対比、%変化	米国商務省
7	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	5日	6日	7日		
ISM 製造業景気指数	52.4	48.7	48.9	48.5	48.5	49.0	48.0	指数	Institute for Supply Management
ISM 非製造業景気指数	55.4	52.3	51.1	50.3	49.9	50.8	50.1	指数	Institute for Supply Management
消費者態度（信頼度）指数	104.5	101.0	95.1	96.9	98.4	95.2	97.2	指数	全米産業審議会
非農業部門雇用推移	338.1	128.0	81.0	35.3	19.0	14.0	73.0	雇用の増減、1、000職単位	労働統計局
完全失業率	4.4%	4.1%	4.2%	4.2%	4.2%	4.1%	4.2%	率	労働統計局
米国金利									
フェデラル・ファンド	2.9%	4.6%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	金利	米連邦準備理事会
10年物短期国債	3.1%	4.3%	4.4%	4.4%	4.4%	4.4%	4.4%	金利	米連邦準備理事会

6	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	4日	5日	6日		
景気先行指数	109.5	100.6	99.6	99.0	99.1	99.1	98.8	指数	全米産業審議会
住宅着工戸数	1.5	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3	年間ベース、100万戸	米国商務省
中古住宅販売戸数	4.9	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	年間ベース、100万戸	全米不動産業協会

月間統計 6日	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	4日	5日	6日		
米国工業生産指数	101.5	103.1	103.6	103.8	102.5	102.4	104.0	指数、2002年=100	米連邦準備理事会
ポリエステル繊維生産者価格指数	142.1	156.2	157.0	157.2	157.8	156.9	156.9	指数、2003年12月=100	労働統計局

月間統計 5日	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	3日	4日	5日		
米国の綿糸輸出	2.9	1.8	1.7	1.9	2.0	1.8	1.9	480ポンド俵換算（季節調整 USDA）	

月間統計 6日	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	4日	5日	6日		
米国紡績・在庫/出荷比率	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	比率	米国商務省

小売統計

月間統計 6日	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	4日	5日	6日		
米国実質消費者支出									
全品目及びサービス	3.6%	2.8%	2.6%	2.4%	2.9%	2.2%	2.1%	前年対比、%変化	米国商務省
衣料品	7.2%	2.9%	3.9%	4.7%	5.0%	4.9%	4.2%	前年対比、%変化	米国商務省
消費者物価指数									
総合	4.4%	2.6%	2.5%	2.5%	2.3%	2.4%	2.7%	前年対比、%変化	労働統計局
衣料品	1.9%	0.6%	0.0%	-0.5%	-0.5%	-0.7%	-0.4%	前年対比、%変化	労働統計局

月間統計 3日	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	1日	2日	3日		
小売業・在庫/販売比率									
衣料品店及び衣料品・アクセサリー店	2.6	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	比率	米国商務省
衣料品卸売業者	2.4	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1	比率	米国商務省

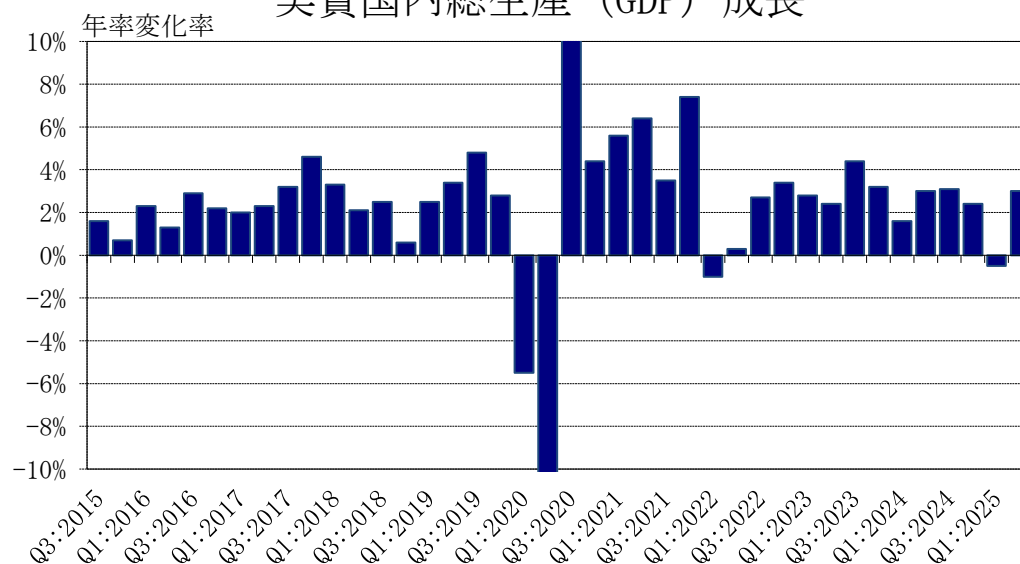
Executive Cotton Update

毎日の綿花価格と通貨データ
8日 2025



日足綿花価格	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	5日	6日	7日		
NY期近物相場	86.5	67.9	66.2	66.2	66.2	65.6	66.8	セント/ポンド	ICE
A-インデックス	97.5	79.6	78.2	78.4	78.0	78.3	78.8	セント/ポンド	Cotlook
日足為替統計	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	5日	6日	7日		
貿易加重ドル指数	119.73	122.83	124.07	121.19	122.39	121.52	119.67	Index, January 1997=100	Federal Reserve
アジア通貨									
中国人民元	6.89	7.14	7.23	7.19	7.22	7.18	7.17	中国人民元/米ドル	Reuters
インド・ルピー	79.89	83.42	85.90	85.16	84.44	85.65	85.39	インド・ルピー/米ドル	Reuters
日本円	132.33	145.37	146.29	144.10	142.84	144.93	144.53	日本円/米ドル	Reuters
パキスタン・ルピー	230.76	271.54	281.11	282.39	281.24	282.05	283.88	パキスタン・ルピー/米ドル	Reuters
北米&南米通貨									
ブラジル・レアル	5.30	5.29	5.68	5.58	5.72	5.61	5.41	ブラジル・レアル/米ドル	Reuters
カナダ・ドル	1.33	1.36	1.40	1.37	1.38	1.37	1.36	カナダ・ドル/米ドル	Reuters
メキシコ・ペソ	19.41	18.69	19.81	19.18	19.72	19.18	18.64	メキシコ・ペソ/米ドル	Reuters
ヨーロッパ通貨									
英国ポンド	0.78	0.80	0.76	0.74	0.75	0.74	0.73	英国ポンド/米ドル	Reuters
ユーロ	0.91	0.93	0.90	0.87	0.88	0.88	0.85	ユーロ/米ドル	Reuters
スイス・フラン	0.91	0.89	0.85	0.81	0.82	0.82	0.79	スイス・フラン/米ドル	Reuters
トルコ・リラ	21.30	28.59	37.99	39.22	38.61	39.22	39.82	トルコ・リラ/米ドル	Reuters

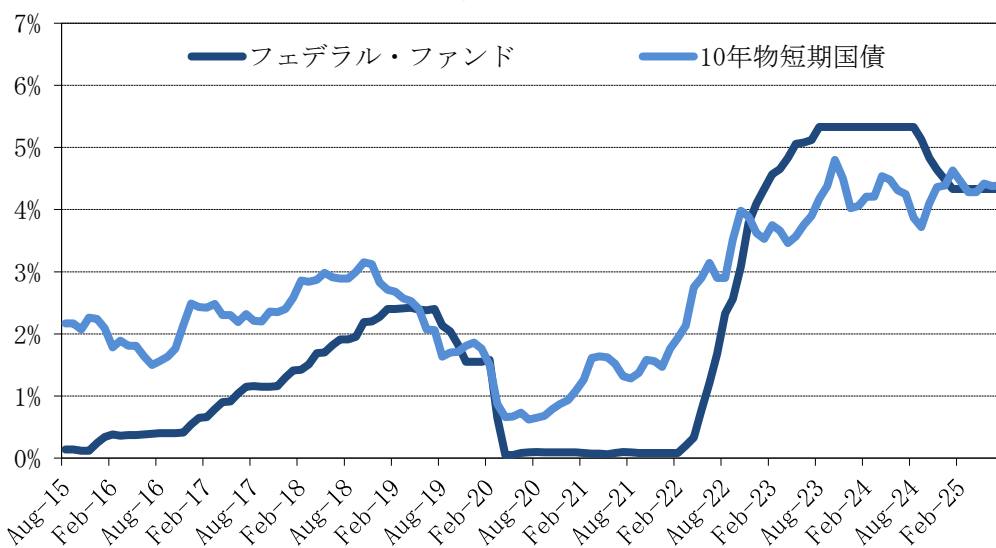
実質国内総生産（GDP）成長



出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

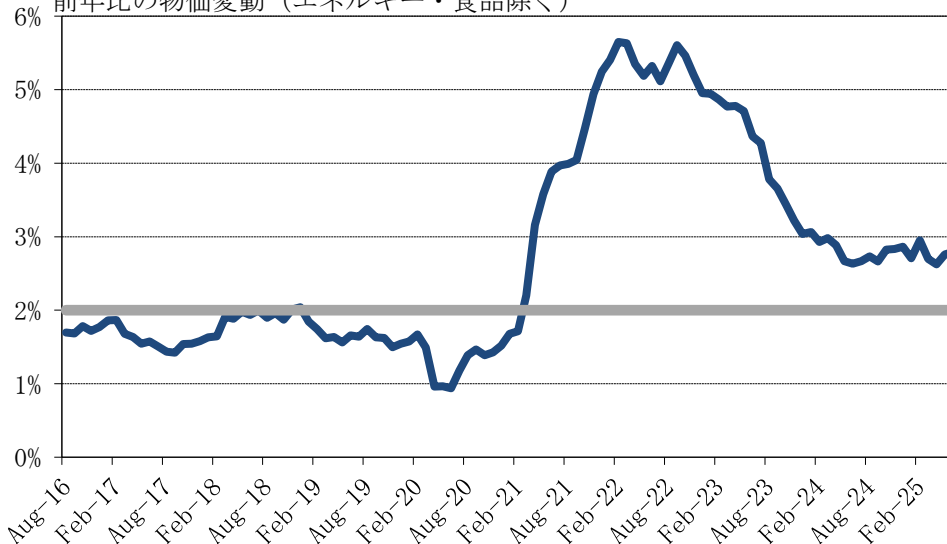
米国金利



出所：米国商務省

米国インフレ率 - FRBが政策目標とするコアPCE価格指数

前年比の物価変動（エネルギー・食品除く）

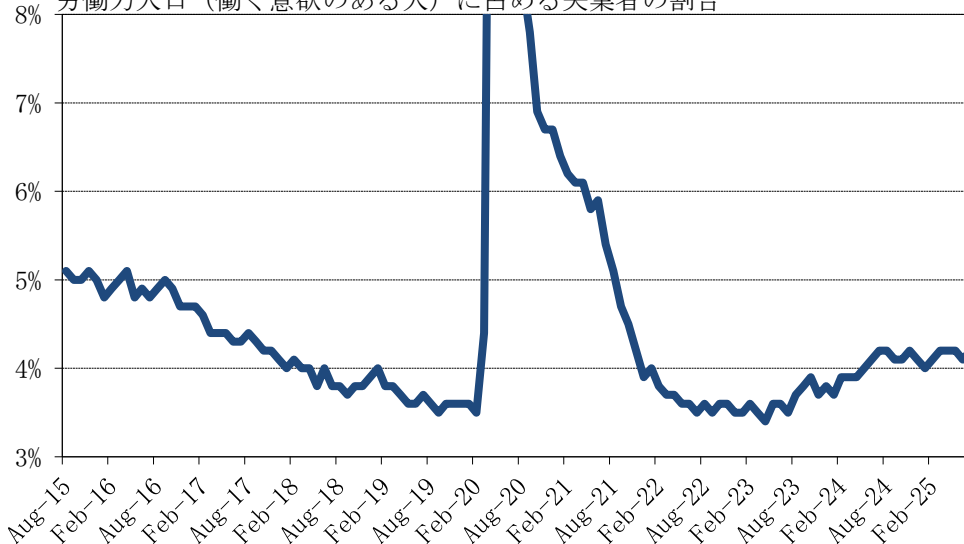


出所：米連邦準備制度理事会

注：米連邦準備制度理事会（FRB）のインフレ率目標は2%

完全失業率

労働力人口（働く意欲のある人）に占める失業者の割合

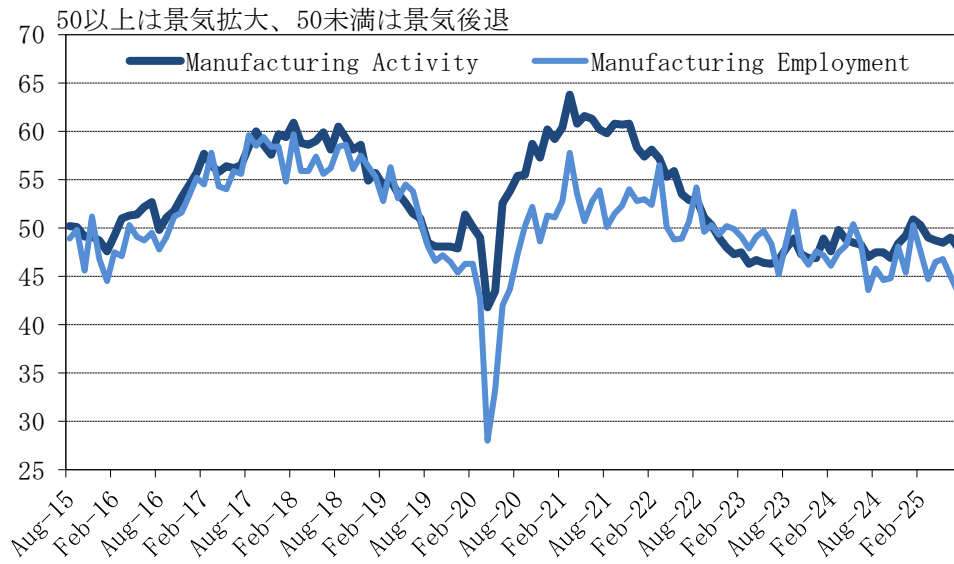


出所：米国労働統計局

注：FRBは物価の安定だけでなく、持続可能な雇用最大化の責務を負う。

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

ISM 製造業景気指数



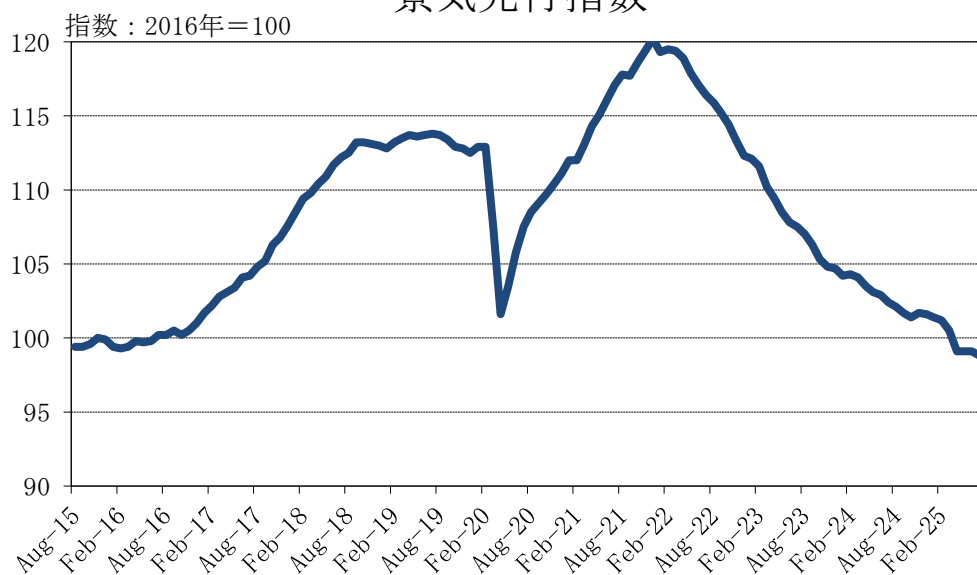
出所：全米供給管理協会（ISM）

ISM 非製造業景気指数



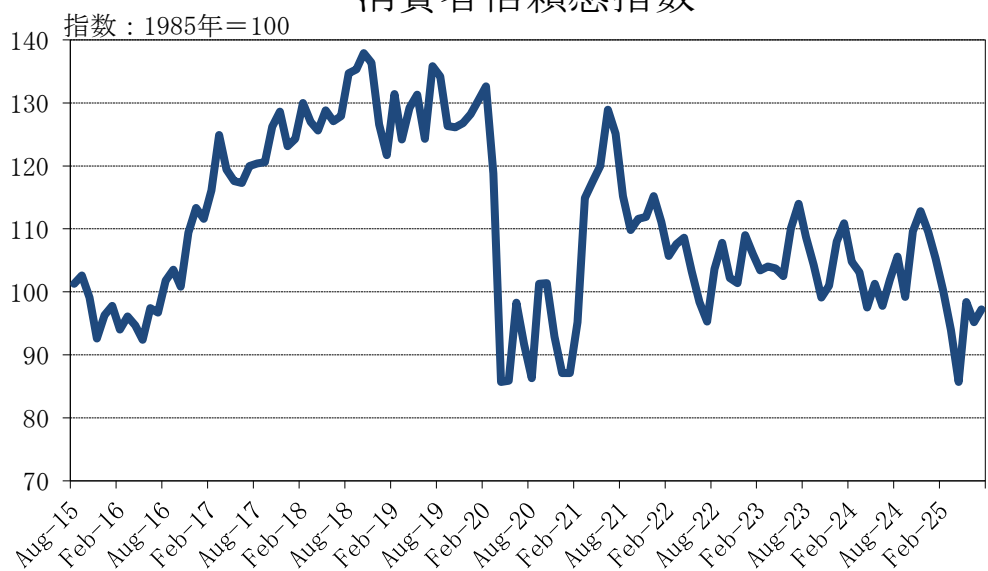
出所：全米供給管理協会（ISM）

景気先行指数



出所：全米産業審議会

消費者信頼感指数



出所：全米産業審議会

住宅着工戸数



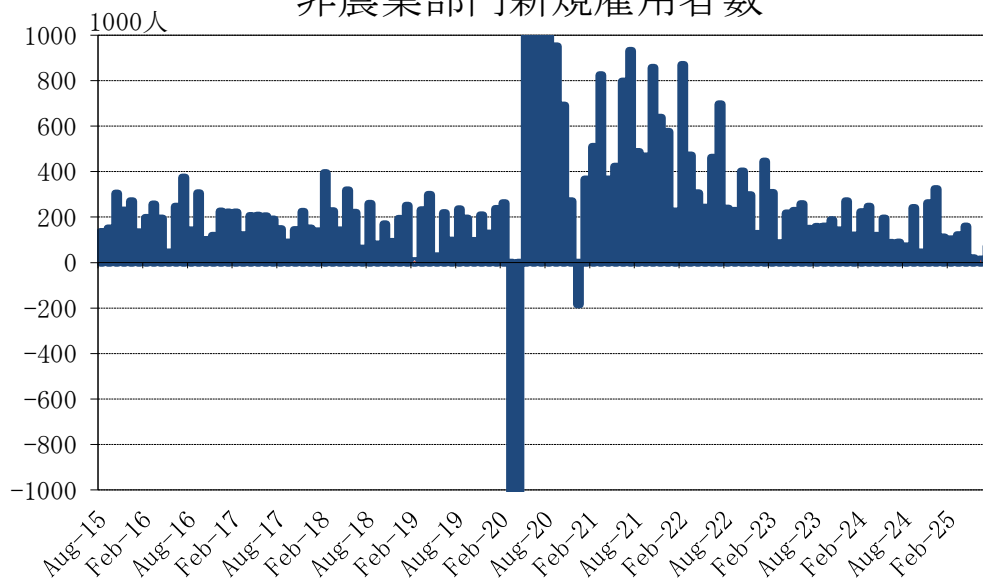
出所：米国商務省

中古住宅販売戸数



出所：米国商務省

非農業部門新規雇用者数



出所：米国労働統計局

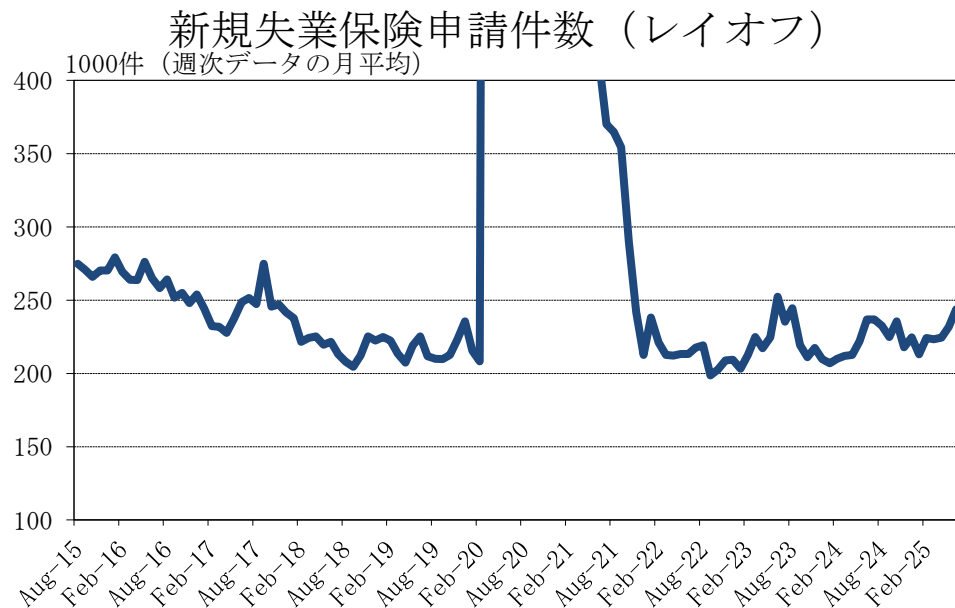
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

求人が埋まらなかった企業の割合



出所：全米独立企業連盟（NFIB）

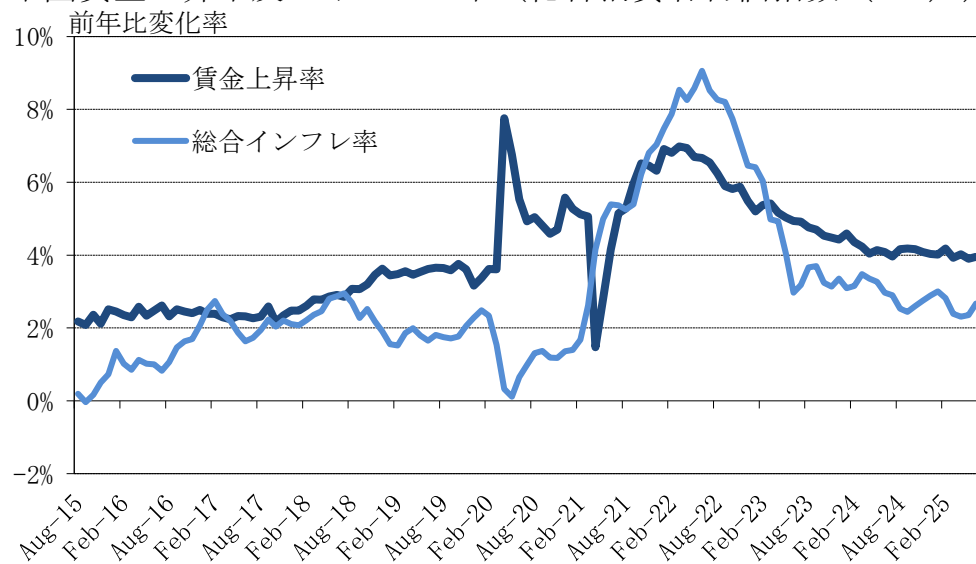
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略



出所：米国労働省

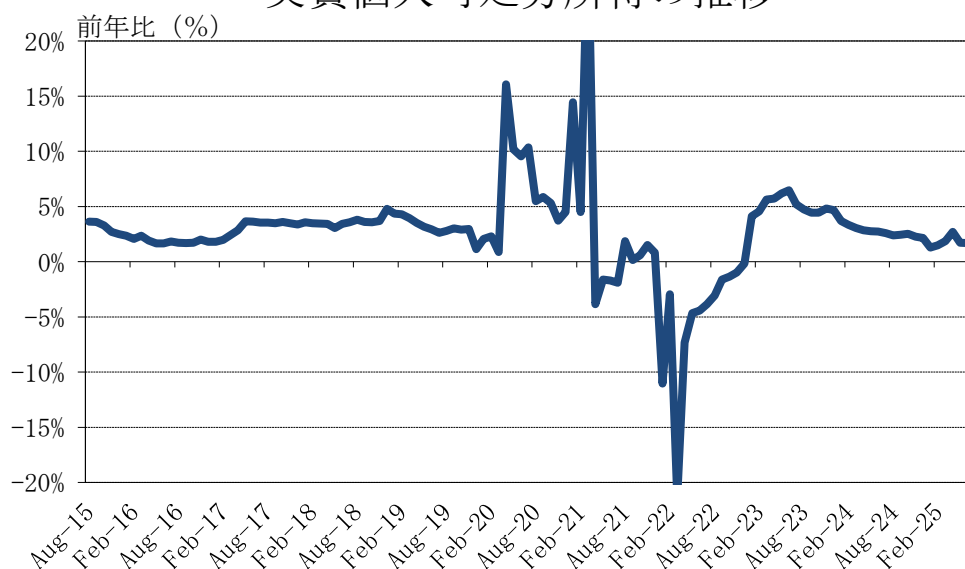
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国賃金上昇率及びインフレ率（総合消費者物価指数（CPI））



出所：米国労働統計局

実質個人可処分所得の推移



出所：米国経済分析局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

貯蓄率

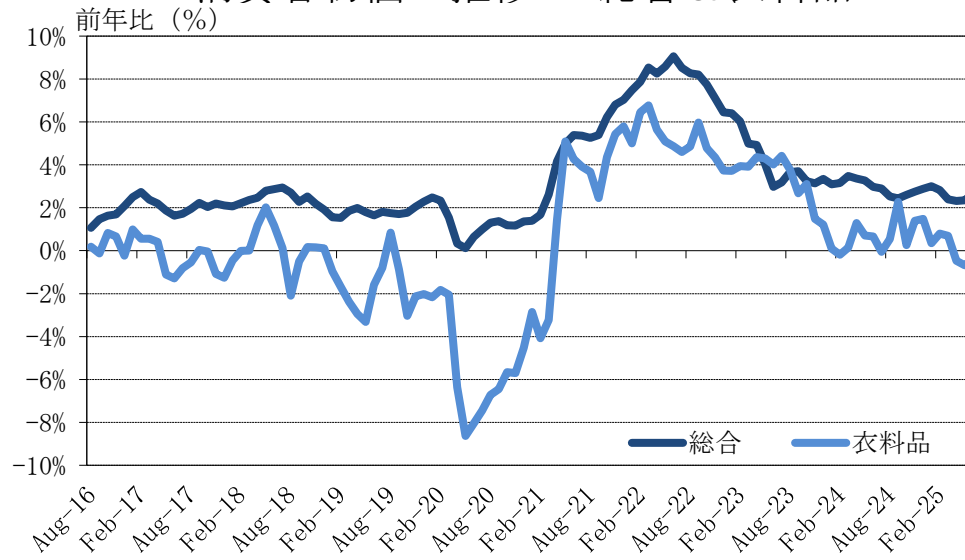


出所：米国労働統計局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

[目次](#)

消費者物価の推移 - 総合&衣料品



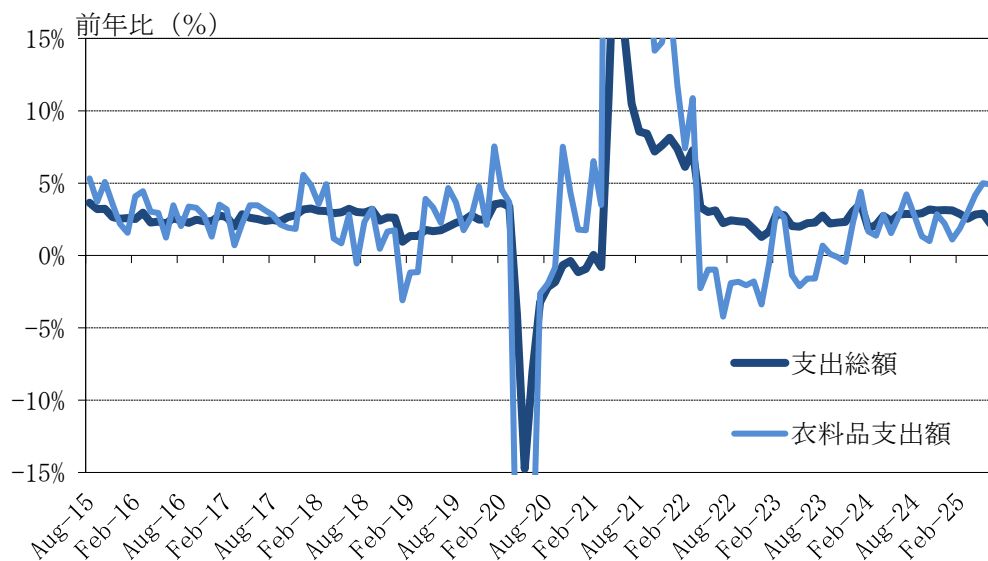
出所：米国労働統計局

米国衣料品消費者物価指数



出所：米国労働統計局

実質消費支出総額の成長率－総額&衣料品



注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国実質消費支出 衣料品

10億ドル（2017年からの連鎖方式、季節調整済年利率）



出所：米国経済分析局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

[目次](#)

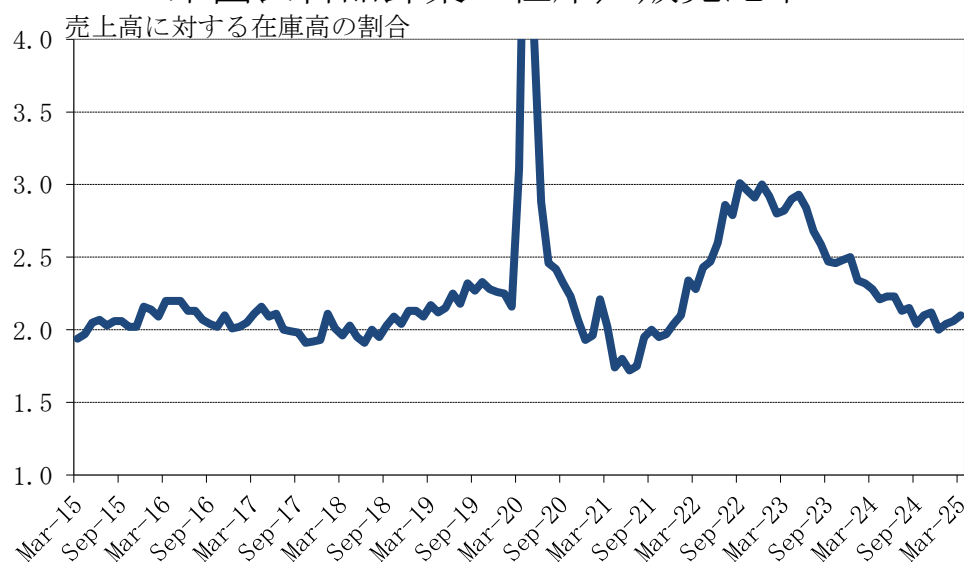
米國小売業の在庫／販売比率



出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国衣料品卸業の在庫／販売比率

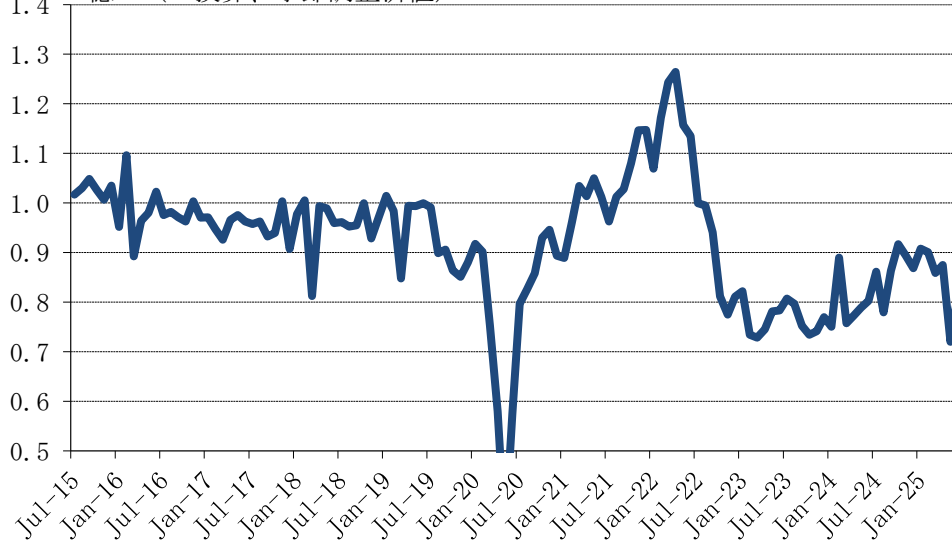


出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国綿リッチ製品輸入量

1.4 10億m² (m²換算、季節調整済値)



出所：OTEXA（コットンインコーポレイテッドによる季節変動調整済）

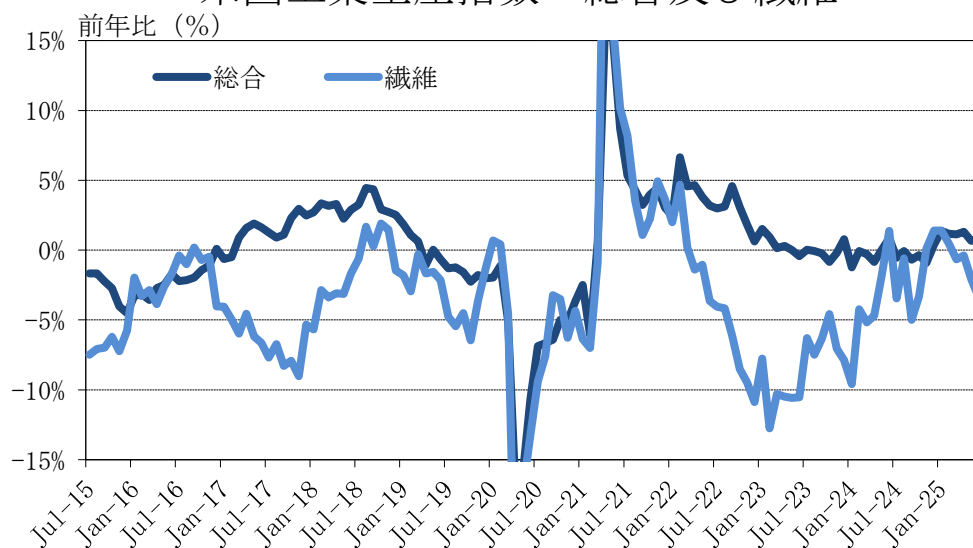
米国綿リッチ製品平均輸入価格

4.5 米ドル/m² (季節調整値)



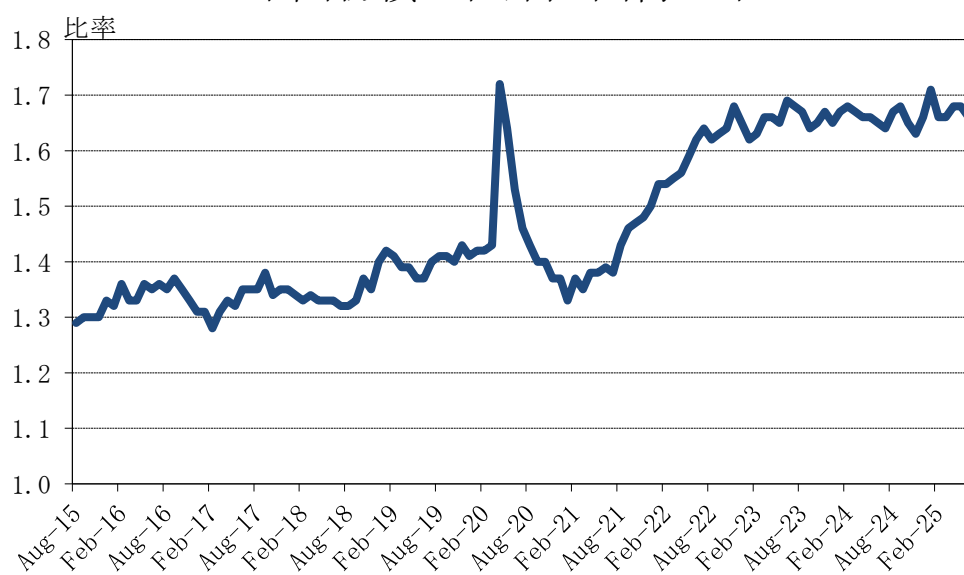
出所：OTEXA（コットンインコーポレイテッドによる季節変動調整済）

米国工業生産指数－総合及び繊維



注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国紡績の在庫／出荷比率



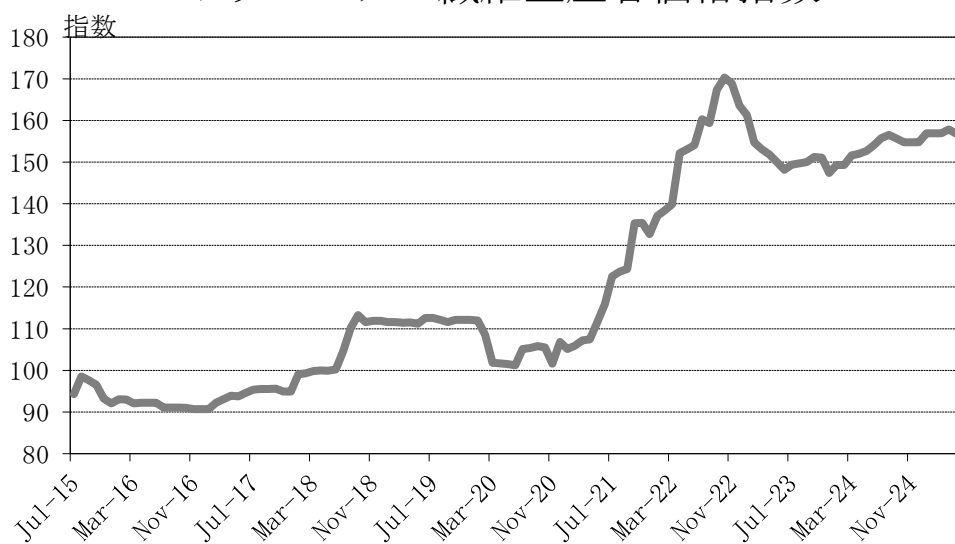
出所：米連邦準備制度理事会

米国の綿糸と綿生地の輸出額



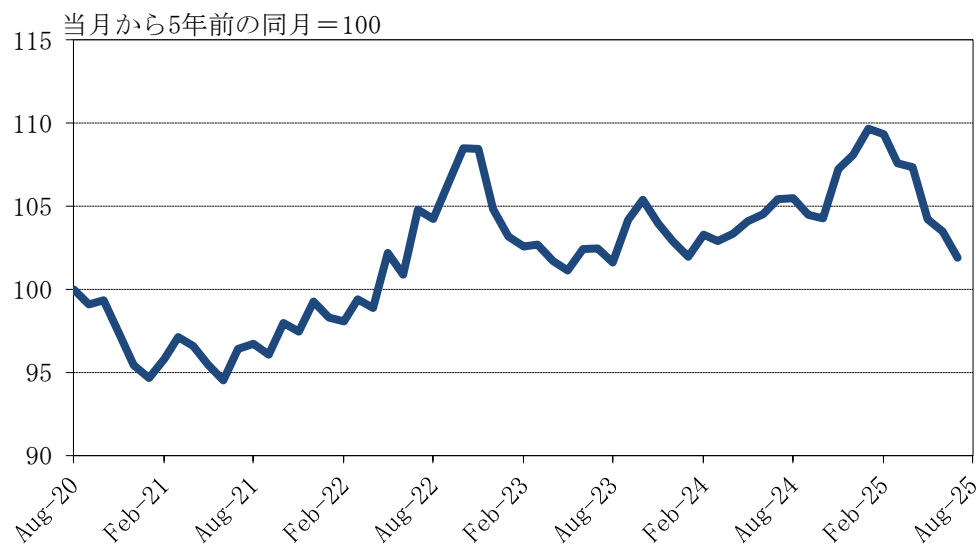
出所：米国農務省（USDA）

ポリエステル繊維生産者価格指数



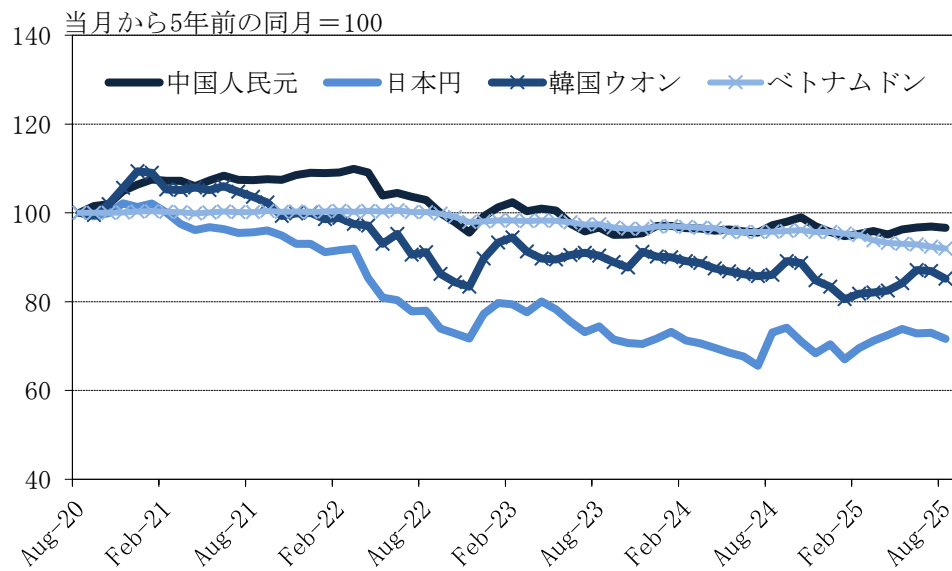
出所：米国労働統計局

貿易加重米ドル指数



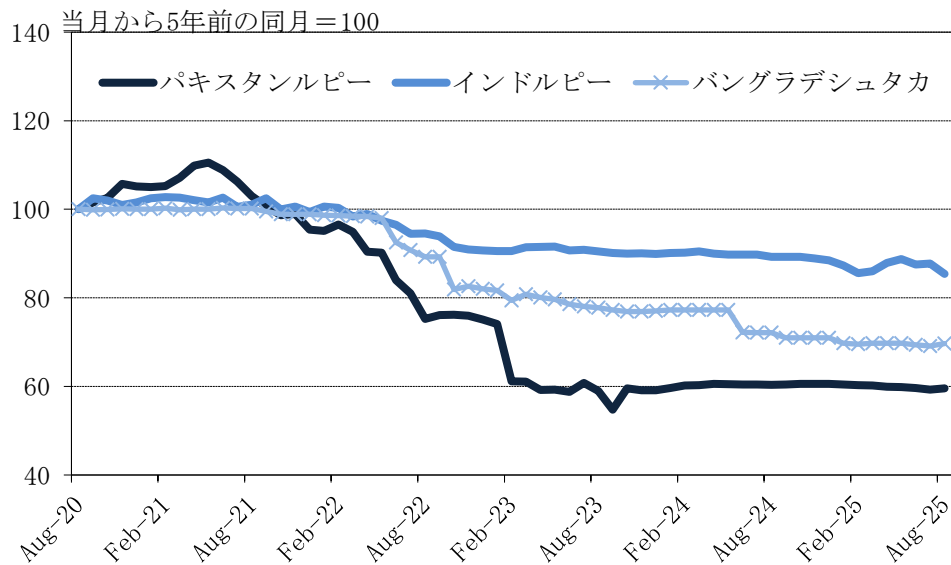
出所：米連邦準備制度理事会

東アジア通貨の対米ドル指標



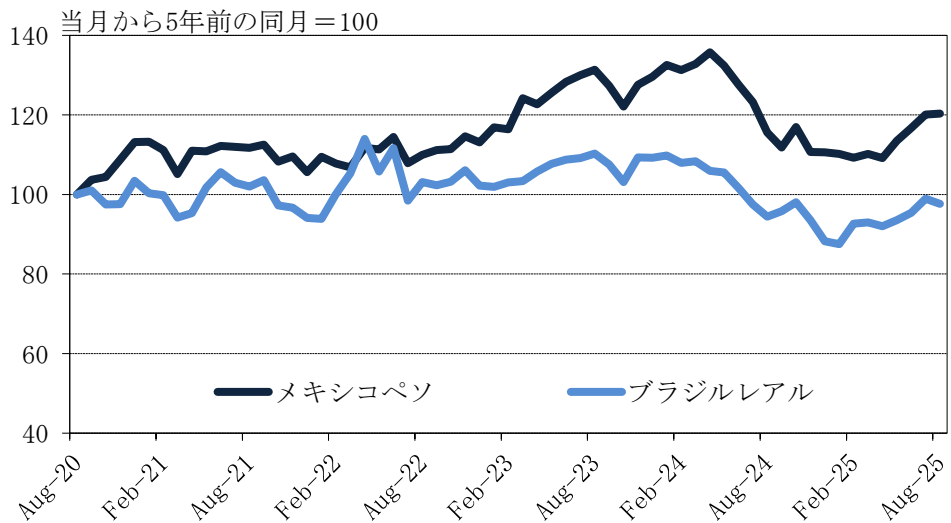
出所：ロイター

南アジア通貨の対米ドル指標



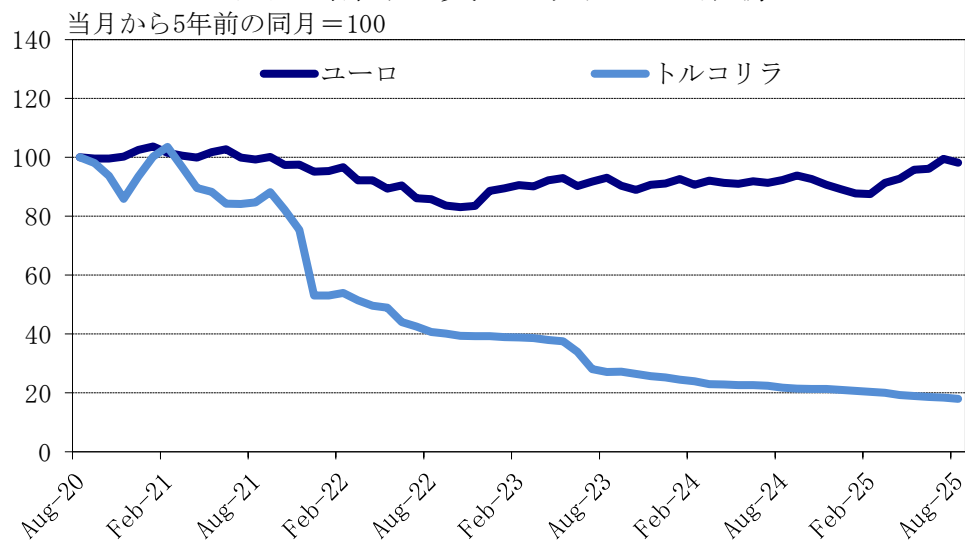
出所：ロイター

北米&南米通貨の対米ドル指標



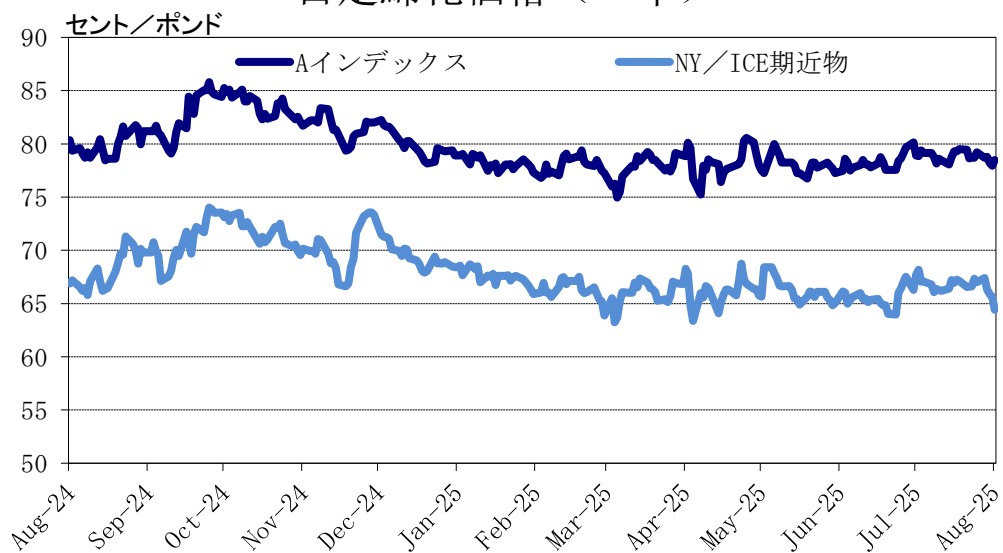
出所：ロイター

欧州諸国通貨の対米ドル指標



出所：ロイター

日足綿花価格（一年）



出所：コットン・アウトLOOK及びロイター

注：綿花の供給、需要、相場の詳細については、
[経済月報をご覧ください。](#)

目次